

# 第30回「地方発！ベンチャー企業ミートアップ」 ～地方発ベンチャー企業の創出・成長支援～

地方の成長意欲の高いベンチャー企業に対してプレゼン機会を定期的に設け、東京圏のVC・大企業等とのネットワークを構築する機会を提供し、ベンチャー企業の成長を応援します！

## 2020年10月8日(木) 16:00-17:15

### オンライン開催

supported by



#### ■登壇企業



コンプラス株式会社（茨城県日立市）  
高齢化社会において買い物困難者の課題を訪問×IT技術で解決する



ためま株式会社（広島県広島市）  
住民満足度98%、互助と関係人口を目的とするGPS連動の地域情報の特許サービスが生む地域創造の価値



AKEBONO株式会社（長野県長野市）  
グルテンフリー・アレルギーフリー穀物の信州産ソルガムの普及拡大による人と地域の課題解決事業



We will accounting associates株式会社（静岡県浜松市）  
事務からの解放、企業の変革を支えるプラグイン事務

外部資金の調達

販路開拓・人材紹介

事業会社との提携

supported by



テーマ	高齢化社会において買い物困難者の課題を訪問×IT技術で解決する	期待事項
	<p>高齢化社会が進む中、「買い物困難者・情報弱者」の方々は、買い物が出来ずに困窮している状況。人が生活する上で無くてはならない「食」を提供することができるネット型スーパー『訪問型買い物代行サービス』は、社会インフラとなるサービスとなり得る。『訪問型買い物代行サービス』は、現在商品数3,500以上の品目を有しており、AWS上に構築しているため、商品情報更新やメンテナンス性に優れている。</p> <p>訪問×IT技術を組み合わせた『訪問型買い物代行サービス』は、スマホ等の情報機器を持たない買い物困難者の自宅に訪問し、訪問サポーターのスマホ等を使用して商品名や商品画像を見ることにより、商品間違いがなく買い物ができる環境を提供する。</p>	<p>資金調達 販路拡大</p>
PR事項	<p>2017年11月 市場調査・パイロット版運用を試行錯誤しながら買い物支援サービスをスタート。</p> <p>2019年11月 シニア世代の3名が会社を設立。</p> <p>2020年2月 日本初の『訪問型買い物代行サービス』本格リリースを開始。</p> <p>【受賞・メディア紹介実績】</p> <p>2019年10月 『訪問型買い物代行サービス』が茨城県地域課題解決型起業支援金に採択。</p> <p>2020年4月24日 茨城県営業戦略部：「いばらき応援活動のご紹介」で紹介。</p> <p>2020年5月13日 日本経済新聞社：「朝刊紙面」で紹介。</p> <p>2020年6月30日 時事通信社：「厚生福祉紙面」で紹介。</p>	

テーマ	住民満足度98%、互助と関係人口を目的とするGPS連動の地域情報の特許サービスが生む地域創造の価値	期待事項
	<p>転出抑制や定住促進を全国で取り組んでいるが、それらが進まない一因として「地域の良好な人間関係の構築」が仕事と同程度の比重を占めると内閣府国民調査の報告がある。</p> <p>良好な人間関係の構築は、他住民と自然に集まれる機会、関わり代の質と量が重要である。</p> <p>利便性以上に、人の出会いとあたたかい互助で住民が喜び、仕事を作っても住み続けたいと思える魅力的な地域には人が集まる。私たちは、それをITを活用して実現を進めている。主に、ITリテラシーに関わらず使え、GPS位置情報を活用した地域活動や資源課題などの住民共有サービスで、他に各地域ニーズを共通化した機能群を付加し、SaaS方式で主に自治体に提供している。</p>	<p>資金調達 業務提携 販路拡大</p>
PR事項	<p>代表自身の子育て時の孤立の原体験と東日本震災をきっかけに、地域活動へのプロボノ参加や全国訪問調査を始め、現在のネット社会での地域情報の取得しづらさに気づき、解決を目指して設立。試行錯誤を重ね、現在のサービスに至る。</p> <p>2014年 クラファン 目標額達成。</p> <p>2015年 広島IT総合展 アプリアイデア 最優秀賞。</p> <p>2017年 広島県知事賞・県民活動表彰、Hibisフォーラム 中国通信局長賞 最優秀賞。</p> <p>2018年 地域力創造アドバイザー認定、UIK神戸市長田区採択。</p> <p>2019年 情報通信月間 中国総合通信局長表彰、山口レボ 最終ピッチ採択</p> <p>2020年 広島県アクセラプログラム 大賞、中国地域ニュービジネス大賞 優秀賞 他</p>	

テーマ	グルテンフリー・アレルゲンフリー穀物の信州産ソルガムの普及拡大による、人と地域の課題解決事業	期待事項
	<p>信州産ソルガムは、省力栽培が可能なアフリカ原産のイネ科の一年生植物であり、世界5大穀物の1つである。ソルガムの子実は近年話題のグルテンフリー、アレルゲンフリー等の特徴がある食材として欧州を中心に注目されていて、さらに茎葉はキノコの培地に活用でき、使用後の培地はエネルギーになる等、多段階での活用が可能な穀物である。海外では非常にポピュラーな食物である一方、流通されているものはほぼすべてが海外産であり、日本国内では一部地域を除きほとんど栽培されていない。</p> <p>この希少性のある信州産ソルガムの生産～加工～流通までの取組みを事業として展開しているのが弊社であり、地方創生の観点からも事業に取り組んでいる。</p>	<p>業務提携 販路拡大</p>
PR事項	<p>【代表者経歴】 井上 格 (いのうえ いたる) 1989年生まれ 栃木県出身 早稲田大学大学院 (物理学専攻) 修了 総合商社にて海外営業職 (アジア地域担当) に従事 趣味・特技：高校サッカー全国3位、調理師免許保有、中国語</p> <p>2018年7月 長野市地域おこし協力隊、家族で長野に移住、同年9月創業</p> <p>2018年12月 信州産ソルガム普及促進協会設立</p> <p>2019年8月 AKEBONO株式会社設立</p> <p>2019年 全国創業選手権(経済産業省主催)中小企業庁長官賞受賞</p> <p>2020年 信州大学発ベンチャー認定企業に認定</p>	

テーマ	事務からの解放、企業の変革を支えるプラグイン事務	期待事項
	<p>中小・中堅企業は日本の雇用の多様性を支えているが、近年総数としては減り続けている。時代の変化に合わせた入替戦がいよいよ本格化した。この入替戦を通じて中小・中堅企業の集約が行われるが、生き残るには労働生産性の向上と、新規事業への挑戦の両輪が求められる。高い労働生産性が実現できなければ競争に負け、新しい取り組みにも挑戦できない。</p> <p>労働生産性を高めるにはバックオフィスの改革が起点となるが、中小・中堅企業が単独でそれを成し遂げるのは難しい。それでは、これをどう実現するのか。外部のアクティバーターを活用したバックオフィスの改善手法とは？</p>	<p>資金調達 業務提携 事業アドバイス</p>
PR事項	<p>東海地区で優良法人150社を顧客に持つ税理士法人We willをグループに持つことにより、中小・中堅企業の生の課題感と常に向き合える状況から、当社サービスの作り込みと改善に必要な顧客体験のフィードバックを受けやすい状況にあることが強みである。</p> <p>また、浜松市においては行政との協調関係、The Garage for startupsの運営を通じたスズキ(株)等大企業との協調関係、Startupコミュニティを通じて積み上げた地域での信頼も当社の独自の強みである。経済産業省の始動Nextinovator第4期へ選出され始動コミュニティと繋がることも事業展開の上でプラスに働いている。</p>	